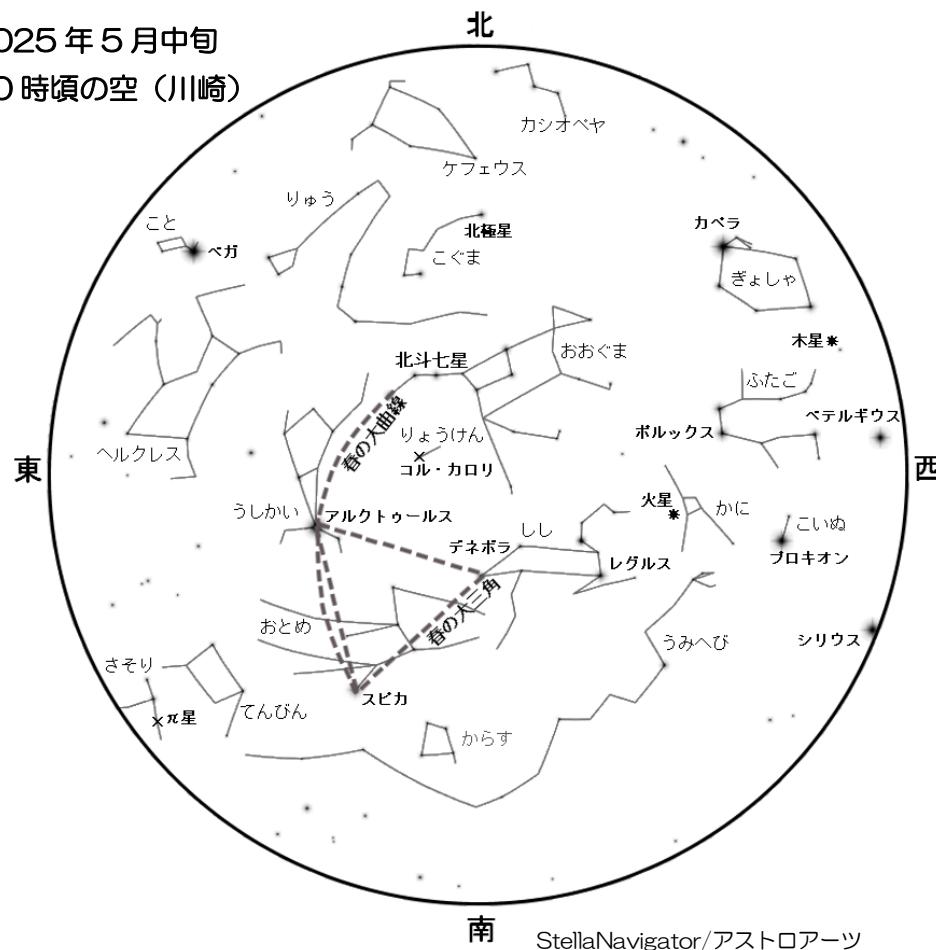


アストロテラス 夜間一般公開

*このリーフレットは科学館天文サポーターの協力により作成しています。

2025年5月中旬

20時頃の空（川崎）



StellaNavigator/アストロアーツ

2025年5月

5月上旬の20時頃の夜空には、北の空高く北斗七星が輝いています。柄杓の柄のカーブをたどっていくと、オレンジ色に輝くうしかい座のアルクトゥールス、青白い光を放つおとめ座のスピカへと続く「春の大曲線」を描くことができます。このアルクトゥールスとスピカに加え、しし座のしっぽに輝くデネボラを結んでできるのが「春の大三角」です。

西の空では、ふたご座やぎょしゃ座が沈みかけ、冬の星座の見納めです。少し時間が経つと、東の空から「夏の大三角」のひとつ、こと座のベガが見え始めています。春の星座が拡がり、夏の訪れを感じさせる星空です。

これからの中天現象

●注目現象

- 5月 7日 土星の環の消失（環の真横から太陽の光があたる。しばらくは小さな望遠鏡では環が見えない。）
- 10日 月（月齢 12.7）がスピカの南を通る
- 14日 月（月齢 16.7）がさそり座のπ星（2.9等）を隠す（星食）5/13 22:50ごろ～5/14 0:25ごろ
月がアンタレスの南を通る
- 23日 月（月齢 25.7）が土星の北を通る
- 24日 月（月齢 26.7）が金星の北を通る
- 28日 月（月齢 1.4）が木星の北を通る
- 6月 1日 明け方金星が西方最大離角（夏にかけて明け方よく見える）
- 2日 月（月齢 6.4）がレグルスの北を通る

●月の満ち欠け

- 5月 13日 満月
- 20日 下弦
- 27日 新月
- 6月 3日 上弦

2025年5月の観望天体(予定)

【コル・カロリ】

コル・カロリは、りょうけん座に輝いている二重星（3等星）で、おおぐま座とうしかい座の間、北斗七星の柄の部分から比較的近い場所に見ることができます。コル・カロリは、ラテン語で「チャールズの心臓」を意味しています。17世紀のイギリス王チャールズ1世あるいは2世に由来しているといわれています。

【月】

満月とは、月と太陽が正反対の位置になること（黄経差が180度）、あるいはその瞬間をいい、これを望（ぼう）ともいいます。またこの時に見られる月の形も指し、望月（ぼうげつ・もちづき）、盈月（えいげつ）ともいいます。

アメリカの農事暦ではフラワームーンと呼ばれています。

月の軌道は橙円で、距離は近づいたり離れたりします。5月の満月は、地球からの距離が離れた位置にあり、平均的な満月より約5%ほど小さく見えます。

23日には、細い月が土星に接近して見えます。翌24日になると、さらに細くなった月が金星に接近して見えます。

アストロテラス 夜間一般公開の流れ

19:30～19:50 受付

先着順で整理券を配布し、番号の順に望遠鏡で観察していただきます。

※雨雲天等、観察が難しいと予想される場合は中止。

実施の有無は、当日15時に当館SNSでお知らせします。

最新の科学館の情報は
ホームページ・SNSを
ご確認ください。

公式ホームページ



X (旧Twitter)



アストロテラス夜間一般公開の
感想をぜひご記入ください。
(所要時間 1～2分程度)



トピック

【望遠鏡の選び方、まずは自作キットや双眼鏡から】

望遠鏡を買いたいけれども、どんなものを選んで良いかわからないという質問を時々頂きますが、実はこの質問は回答がとても難しいのです。目的や予算、星を見る場所や持ち運びの難易度などによって、答えが違うからです。

「望遠鏡って何」というレベルであれば、いきなり高いものを買っても使いきれないと思います。5,000円前後で望遠鏡の自作キットが販売されている（例えば、国立天文台などでも企画・販売している）ので、自作してみてはいかがでしょうか。自作キットの望遠鏡でも、ガリレオ・ガリレイが木星や土星、月を観察した望遠鏡よりもよく見えるはずです。ただし、望遠鏡を載せる台（写真用の三脚など）はしっかりとしたものがあった方が良いでしょう。

自作キットの望遠鏡で満足できない人には、双眼鏡はいかがでしょうか。高倍率（例えば10倍など）の双眼鏡は必要なく、5～6倍程度の両手で持ちやすい大きさの双眼鏡がお手軽で良いと思います。双眼鏡でプレアデス星団などの星団を見るのはとても楽しいと思いますよ。

さらに上を目指すなら、本格的な望遠鏡を検討することになります。望遠鏡で写真を撮りたいという場合には、星を追尾する装置が付いた架台が必要になります。目で観望するだけということであれば、5万円前後から普及品が販売されています。

望遠鏡は、口径が大きくなるほどよく見えるようになりますが、望遠鏡自体や架台が大きく重くなり取り扱いが難しくなります。合わせて値段も高くなります。川崎で月や惑星を見るのであれば、口径5cm程度の望遠鏡があれば満足できるのではないかでしょうか。

ふりんのひとことメモ



5月5日の立夏が過ぎて、暦の上ではもう夏だよ。今年の夏も暑くなるのかな？

今頃の太陽の光はとても強くて、夏休みの頃（7月末）の日差しよりも強いから、日焼け対策や熱中症対策をしっかりしてね。